

第 67 回全国高等学校 PTA 連合会大会

静岡大会『「有徳の人」づくり』 参加報告

参加者 PTA 会長：棚田、副会長：山内、会計：小林、書記：幸田



<日程> 平成 29 年 8 月 24 日 (木)・25 日 (金)

<開催場所> 静岡県小笠山総合運動公園エコパ エコパアリーナ

第 67 回全国高等学校 PTA 連合会大会静岡大会が、8 月 24 日 (木)、25 日 (金) の両日開催されました。エコパアリーナを主会場に、袋井 (エコパ) 会場、浜松会場、静岡会場、清水会場に分かれて分科会が行われました。都高 P 連から約 180 人、全国から約 1 万人の PTA 関係者が参加しました。会場によっては移動に時間がかかり少々タイトなスケジュールでしたが、歴史も感じられる充実した研修旅行になりました。

大会のテーマは、『「有徳の人」づくり～未来のために行動する「一人」を育てよう～』です。

有徳の人とは、**個人として自立した人、人との関わり合いを大切にする人、より良い社会づくりに参画し行動する人**を意味します。

基調講演は静岡大学名誉教授 小和田 哲男先生の「戦国武将に学ぶ子育てと人づくり」でした。

歴史は、ただ過去の出来事ではなく、未来に繋がっています。先人たちの生き様から未来を生きるヒントを掴むことが大切で、学校で歴史を学ぶ意味なのです。江戸時代には寺子屋や藩校といったものがありましたが、それ以前で学校のような学びの場といえば寺でした。また、家庭学習として、自分の経験談を子供たちに話し伝える文化 (武辺拙) がありました。親というより他者の武辺拙を聴いて育つというのが主流だったようです。後北条 (伊豆小田原北条) の二代目北条氏綱は、珍しく、息子に遺言として経験談、信念などを伝え残したようです。「一度、大敗を喫した者でなければ名将にはなれない」といいます。失敗を恐れず、**失敗から学んで欲しい**と思います。



午後は、全国高 P 連研究発表「ネットトラブルの予防と対策」と第 2 分科会「進路指導と PTA～「有徳の人」を育てる希望進路の実現～」に参加しました。第 2 分科会では、4 つの高校より発表と講評がありました。PTA がオープンキャンパスツアーを企画するところもありましたが、せっかく複数の親子で一緒に行動しているので、**参加後に意見交換を行うと有意義になるとアドバイス**がありました。また、先生方と PTA が協力して挨拶運動をしていることは、『有徳の人』**人との関わり合いを大切にする観点からとても良い**と評価されました。

「ネットトラブルの予防と対策」の分科会においては、子どもたちが上手にネットを使いこなすために必要となる保護者の関わり方について、講演とパネルディスカッションが行われました。

思春期は欲求と制御のバランスをとることが難しいということが脳科学的に解明されています。では、スマホを手にする「わかっちゃいるけど止められない」子どもたちとどう向き合うか。**他者からの強制 (他律) ではなく、自分で考えて止められる (自律) ように、セルフコントロールできるよう声かけする方法が有効**であるとのことでした。自律できない子どもには、**時間管理アプリもある**そうなので、試してみたいかがでしょうか。

2日目は、地元高校生によるアトラクション、記念講演、昨日の分科会でのまとめ報告、総会・閉会式と午前中のみでしたが内容は濃く、たくさん勉強させていただきました。



記念講演（トークショー）は俳優 笥利夫氏「笥利夫 これがオレの生きざまだ！」でした。やんちゃで中学高校とバスケット部を貫きながら、どこか芸人を目指していた。演劇部のクラスメイトから役者にならなかった自分を悔いる言葉を聞き、「悔いを残してはいけない！やりたいことに向かって頑張る！夢や目標に向かうから頑張れる！」とおっしゃっていました。また、「親御さんは、お子さんのスマホを盗み見しないように！信頼を失います！」と、子ども側の視点からの言葉も印象に残りました。



閉会式では、次回の「第 68 回全国高等学校 PTA 連合会大会」についての紹介がありました。来年度は、8月20日（月）、21日（火）に、佐賀県で行われます。大会テーマは『広めよう、高めよう、慈しむ心』～君たちがつくる希望の明日を～です。貴重な講演等聞き、今後のPTA活動、教育活動に有意義な大会でした。ありがとうございました。